

令和6年8月6日

西部農林水産振興センター益田農業部

標題

イネカメムシへの注意を徹底～様々な媒体で対策を呼びかけ～

(ダイジェスト)

イネカメムシ及び斑点米カメムシ類による水稻の品質低下を防ぐため、通常の中干し講習会での注意喚起に加えて、各市町の有線放送やケーブルテレビを活用して広く防除の徹底を呼びかけています。この効果もあり、防除に対する意識が高まり、一部地域で個体数の減少もみられています。

益田農業部では、出穂前のほ場内でイネカメムシの発生を確認して以来（R6.7.1普及情報 No. 6）、中干し講習会を利用した注意喚起に加え、各市町の有線放送やケーブルテレビ（ひとまるビジョン（益田）、サンネットにちはら（津和野・吉賀））など様々な媒体を通じて、広く情報を提供してきました。

その結果、生産者のイネカメムシに対する意識が高まり、穂肥講習会や現地栽培研修会ではイネカメムシに対する質問が増え、ほ場の見回りや確実な防除の実施へと繋がっています。また、広域にアナウンスしたことで水稻を主体としない生産者からもカメムシの話題が出るなど、イネカメムシや斑点米カメムシ類に対する関係者の理解度が深まっています。

管内のイネカメムシ確認の情報が集まっていますが、益田市で多く旧匹見町や鹿足郡では報告がないなど地域差も見えてきています。また、益田市内の一部のほ場でイネカメムシの幼虫を確認しており、引き続き警戒が必要です。

こうしたなか、島根県病害虫防除所から注意報（R6.8.2病害虫発生予察情報注意報第2号斑点米カメムシ類）が発表されたこともあり、あらためて各市町の有線放送やケーブルテレビを通じて警戒を促しています。

一部の地域ではイネカメムシ防除が徹底され、斑点米カメムシ類を含めた個体数の減少が見られるなど、品質低下の防止が期待されます。引き続きイネカメムシ発生状況を注視し、生産者への情報提供・注意喚起に努めていきます。



イネカメムシ成虫（市内ほ場）

